

私のおすすめ本

山口健二 専任講師
(ICTリテラシー)

『いちばんやさしい AI (人工知能) 超入門』大西可奈子著

マイナビ出版 2018年

この本は、AI (人工知能) について、数式や専門用語を用いずに解説をした本です。AI の定義は書籍によって様々ですが、この書籍では、「教えた以上のことができる」、すなわち、「自分で考えて判断ができる」コンピューターという説明から始まっています。そして、AI が得意なこと・苦手なこと、AI の歴史、AI で用いられている技術である機械学習やディープラーニングについて、図や表、イラストを用いてとても分かりやすく説明されています。特に、機械学習については、選んだパンの組み合わせからお勧めの飲み物を考える問題を題材として説明されており、初学者の初めの 1 冊として導入しやすい内容となっています。

近年では、文章を書いたり、絵を描いたりする AI も登場し、AI に人間の仕事が奪われるのではないかと思っている人もいます。確かに、AI が得意なことに関しては、AI が担当することになると思いますが、AI がなんでもできるわけではありません。この本の後半では、「AI とシゴト」というタイトルで、いくつかの業種において AI がどのように用いられるのかが解説されています。業種により AI の使われ方は様々です。この本を読むことで、新しい AI の使い方を見つけることができるかもしれません。

AI (人工知能) について知りたいけど、難しくて最後まで読み切れるか不安だったり、数式が出てくる本が苦手だったりする人にお勧めする一冊です。

『ウェブ進化論：本当の大変化はこれから始まる』梅田望夫著

筑摩書房 2006年

この本は 2006 年に発刊されました。すなわち、2005 年に設立された YouTube、2006 年に設立された Twitter、2010 年に設立された Instagram といった現在利用されているサービスがまだ大きくなる前または登場する前に書かれた本です。なので、そういったサービ

スが登場する前、インターネットではどのようなことが起きていたのか、そしてどのように進化していったのかを知るのに良い本であると言えます。

従来は一部の人がしか利用することができなかったコンピューターやインターネットが、「チープ革命」によって、多くの人々が利用できるようになりました。それにより、どのような変化が起こるのかを、この本では説明しています。例えば、「増殖する地球上の歴大（ぼうだい）な情報をすべて整理し尽くす」という構想を持った Google の解説では、Google がこれまでどのようなことをしてきたか、どのようにして大きくなっていったのか、その一片を知ることができます。また、出版社と流通業者と書店の 3 つが関係した従来の本の流通モデルに対して、現在ネットショッピング業界を牽引する Amazon がどのように切り込んでいったか、「ロングテール」という言葉を軸に説明をしています。

後半では、将棋棋士の羽生善治が語った、IT とネットの進化により将棋が強くなるための高速道路が一気に敷かれたこと、そしてその先の大渋滞についての解説がされています。こちらにも興味深い内容で、現代においても同じことが言えると思います。

『統計学がわかる【回帰分析・因子分析編】』 向後千春， 富永敦子著

技術評論社 2009 年

この本は、『統計学がわかる ハンバーガーショップでむりなく学ぶ、やさしく楽しい統計学』の続編になりますが、この本から読み始めることもできます。大量かつ多様かつ多頻度で発生するデータのことをビッグデータと言いますが、近年、このビッグデータを分析する手法であるデータサイエンスの分野に注目が集まっています。データサイエンスによりデータから新しい知見を見つけることで、企業活動に役立てたりします。統計学は、このデータサイエンスを行う際に、必要となる知識・技術の一つです。統計学では、データの全体的な傾向を掴んだり、未来の数値や因果関係を推測したりすることができます。

この本では、データサイエンスの分野の中でも回帰分析・因子分析の基礎について、Excel を使いながら、知識・技術ともに学ぶことができます。実際にデータサイエンスを行う際に、ちょうど良いサンプルデータを探すのはなかなか難しいのですが、この本では、出版社のホームページから本で使われているデータをダウンロードすることができ、簡単にデータサイエンスを始めることができます。Excel を使った散布図や相関係数、偏相関係数、検定、単回帰分析、重回帰分析、因子分析の手法を知りたい人にお勧めします。

筆者自己紹介

山口 健二 (やまぐち けんじ)

2022年4月に日本大学経済学部に着任しました。ICTリテラシー、データ処理論、プログラミング論を担当しています。プログラミングをはじめとするICT（情報通信技術）全般に興味があります。